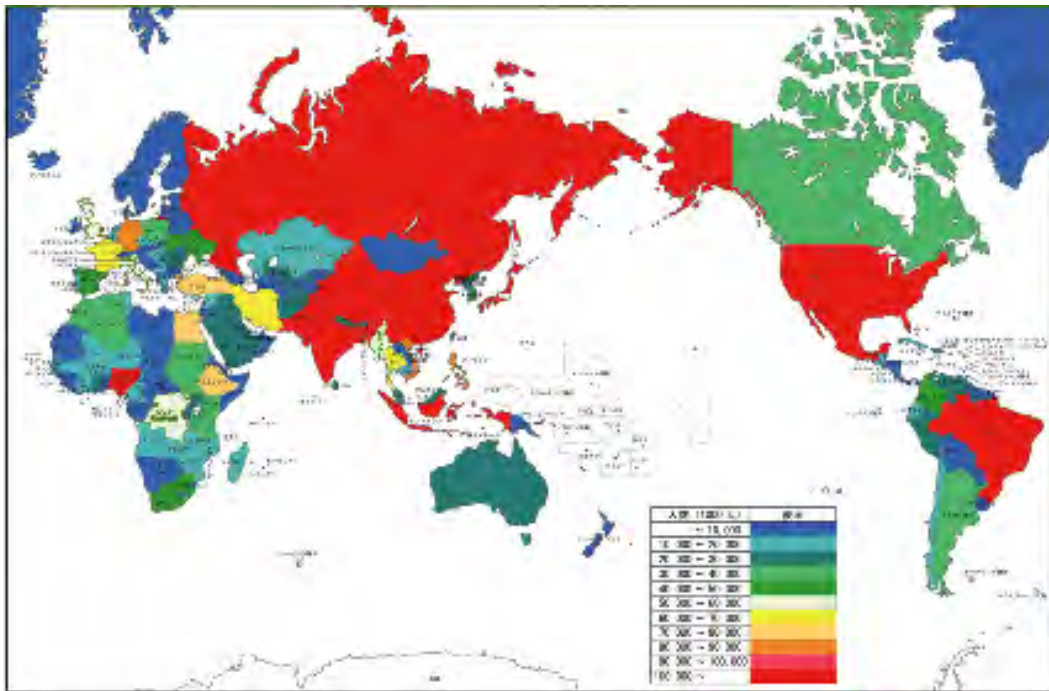


**適性検査Ⅲ ～出題例～**

**問題**

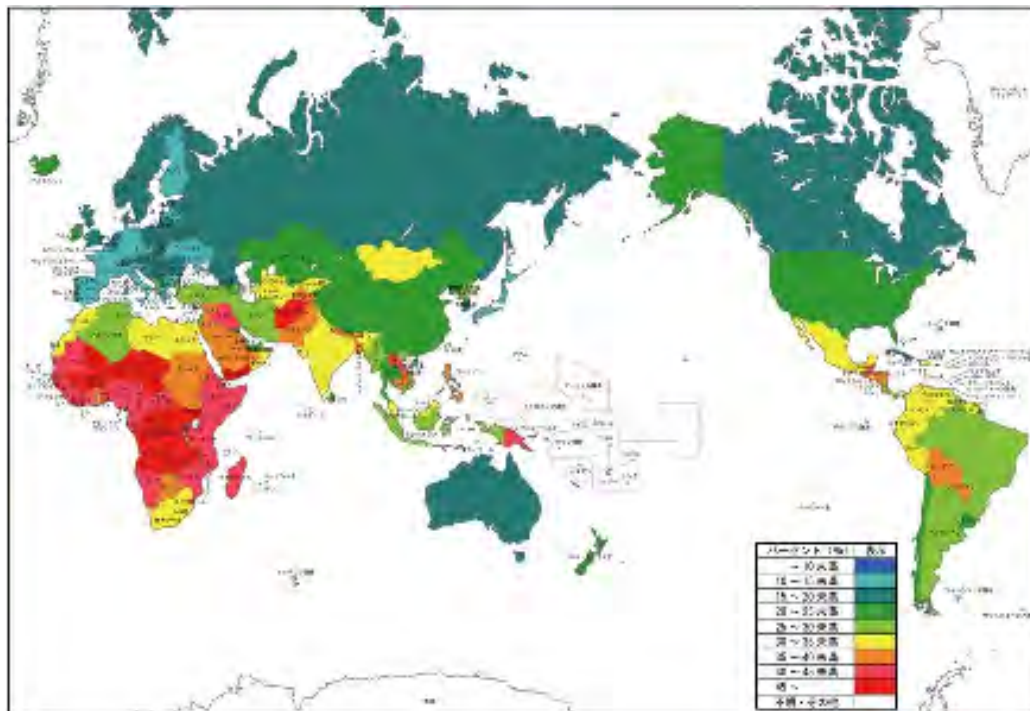
みなみさんは世界の人口問題に興味を持ち、A～Dの資料を使って学習しています。

A. 世界の人口（2005年）



（総務省統計局発行「世界の統計 2005」をもとに作成）

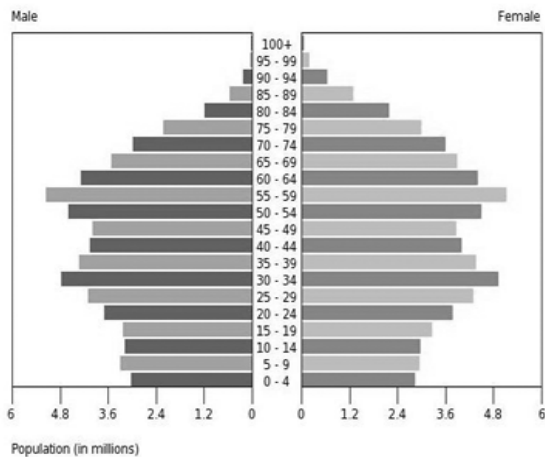
B. 14才以下の比率（2005年）



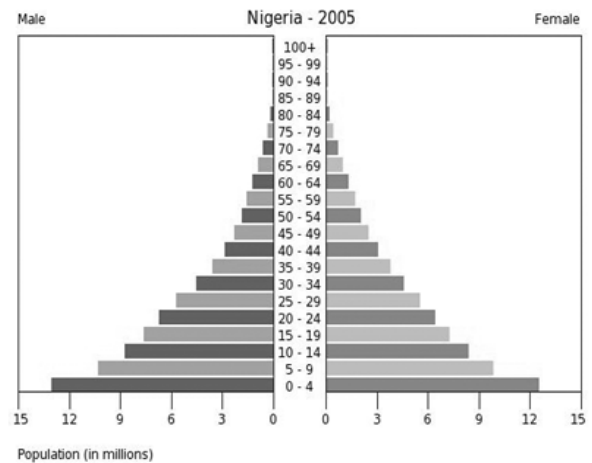
（「United Nations, World Prospects The 2004 Revision」をもとに作成）

C. 各国の人口ピラミッド (2005年)

(オ)の国

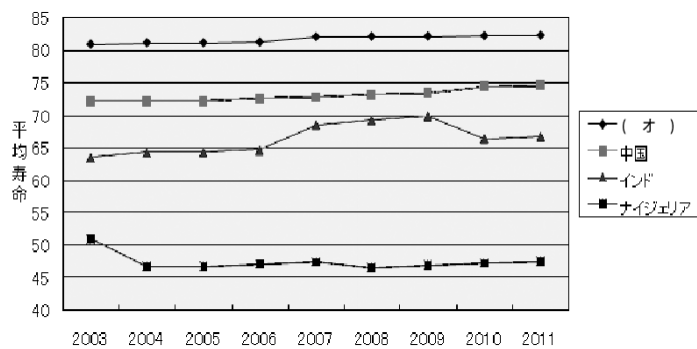


ナイジェリア



(出典 U.S.Census Bureau, International Database)

D. (オ)の国と他の国々の平均じゅ命<sup>みょう</sup>



(「the Central Intelligence Agency」ホームページをもとに作成)

- (1) **みなみさん**は資料A, Bの情報からわかったことを、下のようにまとめました。  
 (ア)～(オ)にふさわしいことばを入れなさい。エについては、20字以内で書くこと。
- 中華人民共和国とアメリカ合衆国はどちらも、人口が(ア)人以上いて、14才以下の比率は(イ)%から(ウ)%の間であることがわかる。
  - アフリカ大陸の多くの国々に見られる特徴は(エ)といえる。
  - 人口が1億人以上いる国の中で、(オ)が一番14才以下の比率が低いことがわかる。
- (2) **みなみさん**は、今年行く予定のカナダの人口について、もう少し詳しく調べることにしました。( )にふさわしいことばを入れなさい。  
 「カナダの人口は3240万人である。地図Bの情報から、カナダの14才以下の人口は、約( )万人～約( )万人の間であることがわかる。」
- (3) **みなみさん**は(オ)の国が14才以下の比率が低いことに驚きました。その理由として考えられることを、資料C, Dをもとにして、30字～40字以内でまとめなさい。